

トキ野生復帰に関連した取組

豊かな自然環境を象徴するトキを野生に復帰させるため、市ではさまざまな取り組みを進めています。

▽トキふれあい施設（平成25年4月オープン予定）

自然に近い状態の中でトキの生態を間近で見ることが出来る日本唯一の施設。

6月末に施設が完成し、トキ近似種のクロトキ等の飼育を経て、25年4月からトキの飼育を開始する予定です。

▽放鳥スケジュール

第6回放鳥は、6月上旬に、現在訓練中のオス10羽、メス3羽を予定しています。

▽トキガイド

市から認定された地元のガイドが、トキ関連施設等を案内します。

申込み・お問い合わせは、トキ交流会館（☎24-6040）または佐渡観光協会（☎27-5000）。各コースにより料金設定されています。

（例）基本B：トキの森公園く野生復帰ステーションく1次放鳥地くトキ交流会館くトキの森公園約2時間コース2500円。

トキ森A：トキの森公園約30分コース1500円。

▽世界農業遺産に認定

世界農業遺産とは、FAO（国連食糧農業機関）が、食糧生産だけでなく、生物の多様性や農村文化、豊かな風景などを生み出し、保全する仕組み

を、後世につなげるべきものとして認定するものです。人と自然の共生を目指す、トキを育む生物多様性保全型農業を推奨する佐渡市は、平成23年6月に石川県能登地域とともに日本初となる世界農業遺産に認定されました。

▽朱鷺と暮らす郷づくり認証制度

トキの初放鳥にあわせて平成20年から生産がスタートされた「朱鷺と暮らす郷米」。認証制度では、農家が生きものとの共生を目指し、「生きものを育む農法」や「生きもの調査」を実施するものです。そして、佐渡市が生産現場を訪れて確認しています。



「朱鷺と暮らす郷づくり」
認証制度 取組実績

年度	面積	農家数
平成20年度	426ha	256戸
平成21年度	862ha	510戸
平成22年度	1,188ha	651戸
平成23年度	1,307ha	685戸

地を訪れて確認しています。

▽トキピオトップ整備

放鳥トキの餌場確保に向けて、ピオトップ（さまざまな生きものが生息できる環境）を整備し、餌となる生きものを増やす取り組みを行っています。初放鳥前年の平成19年より開始され、23年度までに31ヘクタールが整備されました。

▽佐渡Kids生きもの調査隊

市内小学校4く6年生で結成され、現在48名の隊員で活動しています。

地元の農家の皆さんが先生となり、子どもたちがトキのえさとなる田んぼの小さな生きものを調べるなど、食と環境のつながりから生物多様性を学んでいます。

佐渡Kids生きもの調査隊では、隊員を募集しています。詳しくは、市役所農林水産課生物多様性推進室（☎63-3761）までお問い合わせください。

▽佐渡市トキ環境整備基金

トキの野生復帰の取組み支援として、多くのご寄付をいただいています。ご芳志は、トキの生息環境整備のために活用しています。

◆市役所農林水産課 生物多様性推進室

トキ政策係（トキ交流会館内）
☎24-6040



☆お知らせ☆

4月26日（木）、ひなの誕生を記念して、トキの森公園資料展示館に「祝 トキひな誕生コーナー」を設置しました！

場所 トキの森公園資料展示館（佐渡市新穂長畝383-2）
☎22-4123

開館時間 午前8時30分～午後5時（午後4時30分 入館締め切り）

- 内容
- 36年ぶり自然界で誕生したトキひな写真
 - 報道発表新聞記事
 - 小学生のトキメッセージ・トキの絵
 - トキひな動画
 - トキ環境親善大使 加藤登紀子さんお祝いメッセージ

